

第78期 報告書

2010.4.1 ▶ 2011.3.31

T H E W A Y
O F
M U T U A L
P R O G R E S S

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は半世紀の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念

「共々の道」

社 是

「独自の風格ある製品」
「間口よりも奥行きのある研究」
「進歩は常に需要とともに」

財務ハイライト(平成23年3月期)

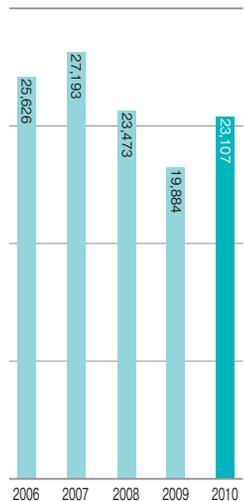
| | | 連結決算 | 単体決算 |
|------------|-------|--------|--------|
| 売上高 | (百万円) | 23,107 | 16,447 |
| 営業利益 | (百万円) | 2,050 | 795 |
| 経常利益 | (百万円) | 2,464 | 1,281 |
| 当期純利益 | (百万円) | 1,435 | 1,454 |
| 1株当たり当期純利益 | (円) | 111.34 | 112.82 |
| 純資産 | (百万円) | 20,714 | 16,243 |
| 総資産 | (百万円) | 28,780 | 23,399 |
| 自己資本比率 | (%) | 68.1 | 69.4 |

(注)本報告書中の財務諸表等の記載の金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結業績推移

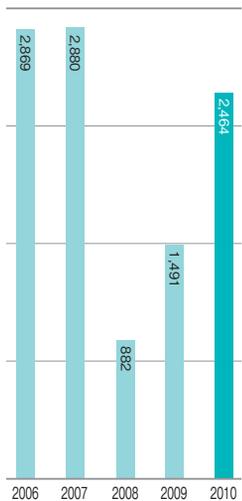
売上高

(単位：百万円)



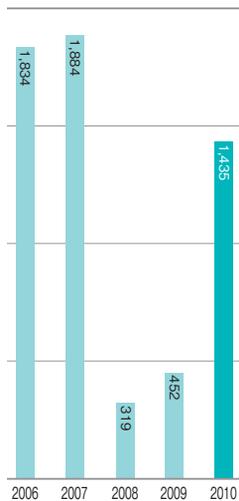
経常利益

(単位：百万円)



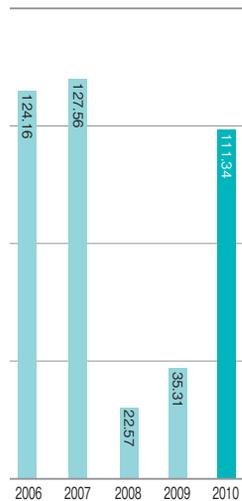
当期純利益

(単位：百万円)



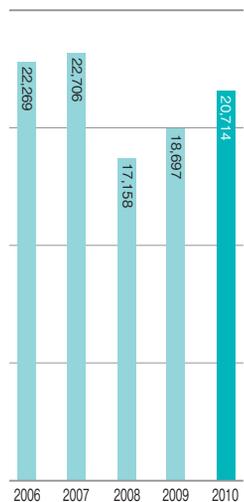
1株当たり当期純利益

(単位：円)



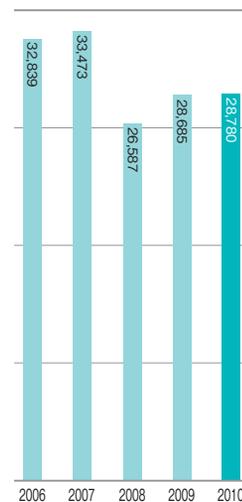
純資産

(単位：百万円)



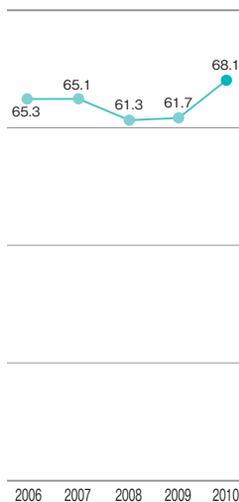
総資産

(単位：百万円)



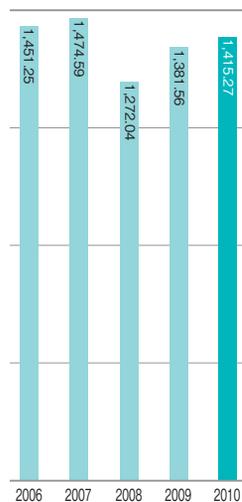
自己資本比率

(単位：%)



1株当たり純資産

(単位：円)



株主の皆様へ



代表取締役社長

大 刈 栄 一

当連結会計年度における世界の経済状況は、依然高度成長を維持する中国を始めとする新興国に牽引され、また、先進国でも内需刺激策により個人消費の持ち直しや企業業績が回復したことで、緩やかに回復傾向が続いております。日本経済におきましては、やや上向き傾向にありましたが、本年3月11日に発生した東日本大震災により大きな打撃を受けました。

当社の主要顧客である自動車業界では、エコカー補助金・減税等の政策効果により生産台数は前年を上回って推移し、太陽電池業界では、旺盛な需要を背景に生産は拡大しております。

このような状況下、売上高は、国内及び海外関係会社のいずれも自動車業界の生産回復による販売増、また、国内を中心に太陽電池用切断油剤の販売が好調で、前期比16.2%増の23,107百万円となりました。

利益面では、主に販売数量の増加により、営業利益は前期比107.6%増の2,050百万円となりました。経常利益は、為替差損やシンジケートローン手数料の計上が増加したものの海外関連会社の業績回復による持分法投資利益が増加し、前期比65.3%増の2,464百万円となり、当期純利益は、関係会社株式売却益162百万円を計上し、前期比217.3%増の1,435百万円となりました。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、当社第78期の事業の概況についてご報告申し上げます。

今後の見通しにつきましては、世界経済は、緩やかな回復の動きが続くものと思われませんが、新興国での需要拡大や北アフリカ・中東での政情不安を背景とした資源価格の高騰や為替の変動等が懸念されます。国内におきましても、東日本大震災の影響が甚大であり、非常に先行き不透明な状況となっております。

このような状況下、平成23年4月からの第16次中期経営計画においては、国内だけでなく全世界を舞台にグローバルな視点を持って事業を展開してまいります。

この第16次中期経営計画を実効性のあるものとし、真のグローバル企業に変身するためには、以下の課題に取り組む必要があると考えております。

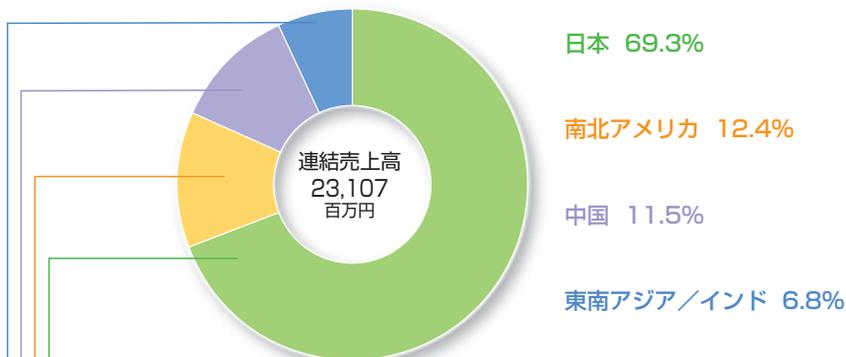
[課題]

1. グローバル展開
2. 戦略的な製品設計・開発
3. 国内外での営業と技術の連携強化
4. グローバルベースでの人材教育・研修システムの確立
5. 海外関係会社の企業統治の強化

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

地域別の概況 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)



●日本

金属加工油剤事業は、自動車業界でエコカー補助金・減税等による環境対応車への需要増加に伴い、生産台数は前年を上回り、また、太陽電池業界では、旺盛な需要を背景に生産能力の増強を進めており、売上高は順調に推移しました。

一方、ビルメンテナンス事業は、厳しい価格競争が続き、低価格化が進行しております。

その結果、売上高は前期比9.8%増の16,026百万円となりました。セグメント利益は、主に販売数量の増加により、前期比88.1%増の1,010百万円となりました。

●南北アメリカ

米国は、自動車生産の順調な回復に牽引され、既存顧客への拡販並びに新規顧客との取引を進め、また太陽電池用切断油剤の売上もあり、売上高は順調に推移しました。

一方、ブラジルは、4月の工業製品税の減税措置廃止後も底堅い国内需要により自動車販売が好調で、主要顧

客の自動車関連企業への売上高は好調に推移しました。

その結果、売上高は前期比21.5%増の2,865百万円となりました。セグメント利益は、原材料価格が上昇傾向にあるものの、主に販売数量の増加により、前期比98.7%増の463百万円となりました。

●中国

中国経済は、政府系インフラ整備や旺盛な個人消費等により高い成長率を見せました。主要顧客の日系自動車メーカー及び鉄鋼会社の生産量が大幅に増加し、売上高も好調に推移しました。

その結果、売上高は前期比39.9%増の2,651百万円となりました。セグメント利益は、原材料価格が上昇したものの、主に販売数量の増加により、前期比50.9%増の444百万円となりました。

●東南アジア/インド

東南アジア各国は、二輪車、自動車の販売が好調に推移し、生産台数が増加しました。このため、各子会社の売上高は好調に推移しました。インドでは、新規顧客の獲得に成功しました。

その結果、売上高は前期比50.7%増の1,563百万円となりました。セグメント利益は、主に販売数量の増加により、前期比64.2%増の172百万円となりました。

※セグメント変更

当社グループは、当連結会計年度から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)の適用により、報告セグメン

トを見直し、従来の「金属加工油剤関連事業」「ビルメンテナンス関連事業」「産業廃棄物処理関連事業」の3区分から、「日本」「南北アメリカ」「中国」「東南アジア/インド」の4区分に変更しております。前期との比較については、前連結会計年度のセグメント別を当連結会計年度のセグメント別に組み替えて比較しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 当期 | 前期 |
|---------------|--------------|--------------|
| | 平成23年3月31日現在 | 平成22年3月31日現在 |
| ●資産の部 | | |
| 流動資産 | 14,636 | 13,317 |
| 固定資産 | 14,143 | 15,367 |
| 有形固定資産 | 7,834 | 9,601 |
| 無形固定資産 | 183 | 169 |
| 投資その他の資産 | 6,125 | 5,596 |
| 資産合計 | 28,780 | 28,685 |
| ●負債の部 | | |
| 流動負債 | 6,493 | 6,374 |
| 固定負債 | 1,572 | 3,613 |
| 負債合計 | 8,066 | 9,988 |
| ●純資産の部 | | |
| 株主資本 | 22,916 | 20,639 |
| 資本金 | 4,249 | 4,249 |
| 資本剰余金 | 4,058 | 3,994 |
| 利益剰余金 | 16,062 | 14,974 |
| 自己株式 | △1,454 | △2,579 |
| その他の包括利益累計額 | △3,309 | △2,938 |
| その他有価証券評価差額金 | 211 | 280 |
| 為替換算調整勘定 | △3,521 | △3,218 |
| 少数株主持分 | 1,106 | 995 |
| 純資産合計 | 20,714 | 18,697 |
| 負債及び純資産合計 | 28,780 | 28,685 |

資産の部

流動資産は、前期末に比べ9.9%増加し、14,636百万円となりました。これは主として、現金及び預金が630百万円、たな卸資産が435百万円、受取手形及び売掛金が249百万円増加したことによります。固定資産は、前期末に比べ8.0%減少し、14,143百万円となりました。これは主として、長期預金が588百万円、投資有価証券が71百万円増加したものの、エヌエス・ユシロ㈱の全株式売却等により有形固定資産が1,766百万円減少したことによります。

負債の部

流動負債は、前期末に比べ1.9%増加し、6,493百万円となりました。これは主として、短期借入金が439百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が346百万円、未払法人税等が331百万円増加したことによります。

固定負債は、前期末に比べ56.5%減少し、1,572百万円となりました。これは主として、長期借入金が1,844百万円減少したことによります。

純資産の部

純資産合計は、前期末に比べ10.8%増加し、20,714百万円となりました。これは主として、自己株式の処分による1,189百万円、利益剰余金が1,088百万円増加したこと、為替換算調整勘定が302百万円変動したことによります。

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで | 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで |
| 売上高 | 23,107 | 19,884 |
| 売上原価 | 15,690 | 13,733 |
| 売上総利益 | 7,416 | 6,150 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,366 | 5,163 |
| 営業利益 | 2,050 | 987 |
| 営業外収益 | 607 | 620 |
| 受取利息及び受取配当金 | 150 | 154 |
| 持分法による投資利益 | 381 | 295 |
| その他 | 74 | 171 |
| 営業外費用 | 193 | 117 |
| 支払利息 | 42 | 71 |
| その他 | 150 | 45 |
| 経常利益 | 2,464 | 1,491 |
| 特別利益 | 246 | 174 |
| 特別損失 | 12 | 497 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,697 | 1,168 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 994 | 453 |
| 法人税等調整額 | 1 | 65 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 1,701 | — |
| 少数株主利益 | 266 | 197 |
| 当期純利益 | 1,435 | 452 |

売上高

売上高は、国内及び海外関係会社のいずれも自動車業界の生産回復による販売増、また、国内を中心に太陽電池用切断油剤の販売が好調で、前期比16.2%増の23,107百万円となりました。

営業利益

営業利益は、主に販売数量の増加により前期比107.6%増の2,050百万円となりました。

経常利益

経常利益は、為替差損やシンジケートローン手数料を計上したものの、海外関連会社の業績回復により持分法投資利益が増加し、前期比65.3%増の2,464百万円となりました。

当期純利益

当期純利益は、エヌエス・ユシロ㈱を売却したことによる関係会社株式売却益162百万円を計上し、前期比217.3%増の1,435百万円となりました。

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで) | 株主資本 | | | | | その他の 包括利益 累計額 | 少数株 主 持分 | 純資産 合 計 |
|-------------------------------|-------|--------------|--------------|--------|-------------|---------------------|-------------|------------|
| | 資本金 | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 自己株式 | 株主資本 合 計 | | | |
| 平成22年3月31日残高 | 4,249 | 3,994 | 14,974 | △2,579 | 20,639 | △2,938 | 995 | 18,697 |
| 持分法適用会社の会計処理の変更に伴う増減 | | | △155 | | △155 | | | △155 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △192 | | △192 | | | △192 |
| 当期純利益 | | | 1,435 | | 1,435 | | | 1,435 |
| 自己株式の処分 | | 63 | | 1,125 | 1,189 | | | 1,189 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額) | | | | | | △370 | 110 | △260 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | 63 | 1,243 | 1,125 | 2,432 | △370 | 110 | 2,172 |
| 平成23年3月31日残高 | 4,249 | 4,058 | 16,062 | △1,454 | 22,916 | △3,309 | 1,106 | 20,714 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで | 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,414 | 2,426 ● |
| ● 投資活動によるキャッシュ・フロー | △127 | △59 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △558 | △1,085 ● |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △223 | 322 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | 505 | 1,604 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,892 | 4,288 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,397 | 5,892 |

営業活動による キャッシュ・フロー

営業活動により1,414百万円収入超過となりました。これは、法人税等の支払637百万円、売上債権の増加576百万円、持分法による投資損益の増加381百万円等の支出がありました。税金等調整前当期純利益2,697百万円、減価償却費510百万円、仕入債務の増加359百万円等の収入によるものであります。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により127百万円支出超過となりました。これは、主に連結の範囲の変更を伴う子会社売却による収入924百万円等がありましたが、定期預金の預入による支出934百万円、有形固定資産の取得による支出451百万円等によるものであります。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により558百万円支出超過となりました。これは、自己株式の売却による収入1,189百万円等がありましたが、長期借入金の返済による支出1,964百万円等によるものであります。

単体財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|---------------|--------------|--------------|
| | 平成23年3月31日現在 | 平成22年3月31日現在 |
| ●資産の部 | | |
| 流動資産 | 10,056 | 8,119 |
| 固定資産 | 13,343 | 13,514 |
| 有形固定資産 | 6,603 | 6,727 |
| 無形固定資産 | 47 | 47 |
| 投資その他の資産 | 6,692 | 6,739 |
| 資産合計 | 23,399 | 21,633 |
| ●負債の部 | | |
| 流動負債 | 5,635 | 4,787 |
| 固定負債 | 1,521 | 2,980 |
| 負債合計 | 7,156 | 7,768 |
| ●純資産の部 | | |
| 株主資本 | 16,045 | 13,593 |
| 資本金 | 4,249 | 4,249 |
| 資本剰余金 | 4,058 | 3,994 |
| 利益剰余金 | 9,191 | 7,929 |
| 自己株式 | △1,454 | △2,579 |
| 評価・換算差額等 | 197 | 271 |
| その他有価証券評価差額金 | 197 | 271 |
| 純資産合計 | 16,243 | 13,865 |
| 負債及び純資産合計 | 23,399 | 21,633 |

損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|--------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | 平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで | 平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで |
| 売上高 | 16,447 | 13,497 |
| 売上原価 | 11,562 | 9,499 |
| 売上総利益 | 4,885 | 3,997 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,089 | 3,740 |
| 営業利益 | 795 | 256 |
| 営業外収益 | 629 | 522 |
| 営業外費用 | 144 | 77 |
| 経常利益 | 1,281 | 702 |
| 特別利益 | 819 | 44 |
| 特別損失 | 5 | 491 |
| 税引前当期純利益 | 2,094 | 255 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 655 | 257 |
| 法人税等調整額 | △14 | △53 |
| 当期純利益 | 1,454 | 51 |

株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| (平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで) | 株主資本 | | | | | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 純 資 産 合 計 |
|---------------------------------|-------|--------------|--------------|--------|-------------|-----------------------|-----------|
| | 資本金 | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 自己株式 | 株主資本 合 計 | | |
| 平成22年3月31日残高 | 4,249 | 3,994 | 7,929 | △2,579 | 13,593 | 271 | 13,865 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △192 | | △192 | | △192 |
| 当期純利益 | | | 1,454 | | 1,454 | | 1,454 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 | | △0 |
| 自己株式の処分 | | 63 | | 1,125 | 1,189 | | 1,189 |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額) | | | | | | △73 | △73 |
| 事業年度中の変動額合計 | — | 63 | 1,262 | 1,125 | 2,451 | △73 | 2,378 |
| 平成23年3月31日残高 | 4,249 | 4,058 | 9,191 | △1,454 | 16,045 | 197 | 16,243 |

株式情報 (平成23年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 29,180,000株

発行済株式数 15,200,065株

株主数 6,202名
(前期末比601名増)

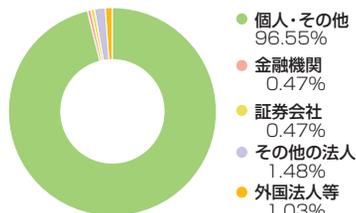
大株主

| 株主名 | 持株数(百株) | 出資比率(%) |
|---------------------------|---------|---------|
| 日本生命保険相互会社 | 10,574 | 7.63 |
| ユシロ化学工業取引先持株会 | 7,110 | 5.13 |
| 株式会社三井住友銀行 | 6,226 | 4.49 |
| スズキ株式会社 | 5,490 | 3.96 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 5,222 | 3.76 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 4,863 | 3.51 |
| ユシロ化学工業従業員持株会 | 3,089 | 2.22 |
| 三井住友海上火災保険株式会社 | 2,860 | 2.06 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,500 | 1.80 |
| 長瀬産業株式会社 | 2,437 | 1.75 |

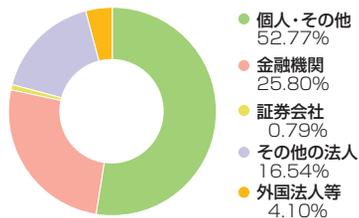
※当社は、自己株式13,459百株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。出資比率は、自己株式(13,459百株)を除いて算出しております。

株式の分布状況

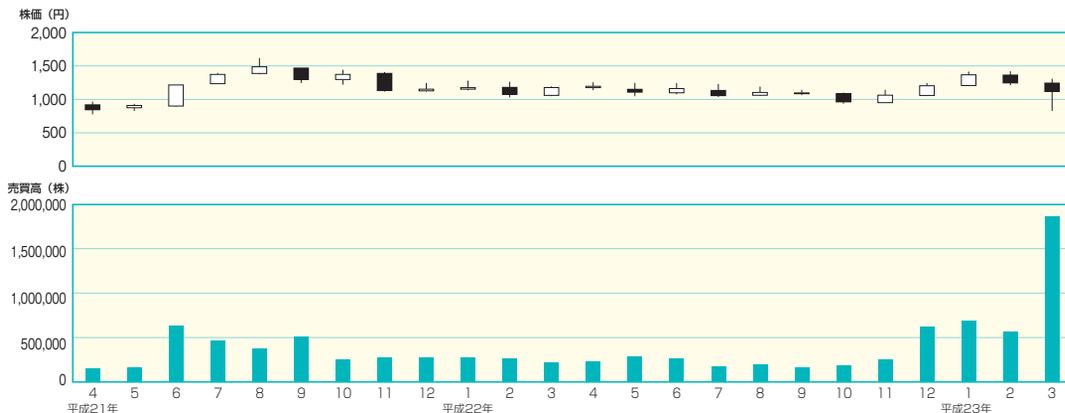
株主数比率



株式数比率



株価チャート



会社概要 (平成23年3月31日現在)

■ 会社概要

| | |
|------------------|--|
| 社名 | ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD. |
| 本社所在地 | 〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL(03) 3750-6761 FAX(03) 3750-1146 |
| ホームページ | http://www.yushiro.co.jp/ |
| 設立 | 1944年(昭和19年)7月24日 |
| 資本金 | 4,249百万円 |
| 従業員数 | 332名(連結732名) |
| 当社グループの 主な製品等 | 金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、表面処理剤、 アルミ離型剤、新素材加工油剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、フロアメンテナンス用機器 類、その他関連製品 |

■ 連結子会社

| |
|-------------------------------|
| ユシロ運送株式会社 |
| ユシロ・ゼネラルサービス株式会社 |
| ユシロマニュファクチャリングアメリカ株式会社 [米国] |
| ユシロドブラジルインダストリアケミカ有限公司 [ブラジル] |
| ユシロ(タイランド)株式会社 [タイ] |
| 啓東尤希路化学工業有限公司 [中国] |
| 上海尤希路化学工業有限公司 [中国] |
| ユシロジェットケミカルズ株式会社 [マレーシア] |
| 広州尤希路油剤有限公司 [中国] |
| ユシロ(インド)株式会社 [インド] |
| PT. ユシロインドネシア [インドネシア] |
| ユシロメキシコ S.A. de C.V. [メキシコ] |

■ 持分法適用関連会社

| |
|-----------------|
| 汎宇化学工業株式会社 [韓国] |
| 株式会社汎宇 [韓国] |
| 三宜油化股份有限公司 [台湾] |

■ 役員 (平成23年6月23日現在)

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 大胡 栄一 |
| 代表取締役会長 | 長井 禧明 |
| 常務取締役 | 広部 雅久 |
| 常務取締役 | 百束 立春 |
| 常務取締役 | 阪口 善裕 |
| 取締役 | 岸 裕次 |
| 取締役 | 岡本 晴夫 |
| 取締役 | 濱元 伸二 |
| 常勤監査役 | 千葉 保雄 |
| 常勤監査役* | 恩田 統夫 |
| 監査役* | 野末 昭孝 |

(注) ※は社外監査役です。

■ 事業所

| | |
|-----------|---------------------------------|
| テクニカルセンター | 神奈川県高座郡寒川町田端 1580 |
| 富士工場 | 静岡県駿東郡小山町湯船字湯船原 1157-2 |
| 兵庫工場 | 兵庫県神崎郡福崎町西治字拝尾 817-1 |
| 東京支店 | 東京都大田区千鳥 2-34-16 |
| 名古屋支店 | 愛知県名古屋市長区鳴海町社若 100 |
| 大阪支店 | 大阪府枚方市池之宮 3-5-1 |
| 北海道営業所 | 北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧第一生命ビルディング3階 |
| 東北営業所 | 宮城県仙台市宮城野区宮城野 1-26-20 |
| 北関東営業所 | 栃木県小山市大字横倉新田 470-5 |
| 北陸営業所 | 石川県金沢市森戸 1-158 |
| 浜松営業所 | 静岡県浜松市中区高丘西 1-3-24 |
| 福山営業所 | 広島県福山市大門町野々浜向山 270-1 |
| 広島営業所 | 広島県広島市南区段原 2-14-11 田中ビル |
| 九州営業所 | 福岡県福岡市博多区東比恵 3-11-2 |

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会の基準日 3月31日

期末配当の基準日 3月31日

中間配当の基準日 9月30日

証券コード 5013

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 (北浜業務室)
〒541-8583 大阪府中央区北浜2丁目4番6号
Tel. 0120-255-100 (通話料無料)

公 告 方 法 電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.yushiro.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。